A photograph of a woman holding a baby outdoors. The woman is on the right, looking up at the baby with a smile. The baby is on the left, looking back at the woman. They are in a park-like setting with green trees in the background. A pink rectangular box is overlaid on the image, containing the title and subtitle text.

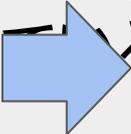
# 世間と妊婦

～繋げる笑顔と繋がる命を～

長野県上田染谷丘高校 1年 荻原 可奈

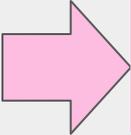
## このテーマにした理由

妊婦さんは、もう一つの大切な命を授かり、その中で普段通りの生活をするのは厳しく、妊娠すると、妊娠前と比べ、できることも限られるため、無理に一人で背負い込むのは、妊婦さんにとっても、お腹の子にとっても、重い負担になり得る。



妊婦さんが困っていること・不安に思っていること・気になっていることは？

・困っ



社会ができることは？

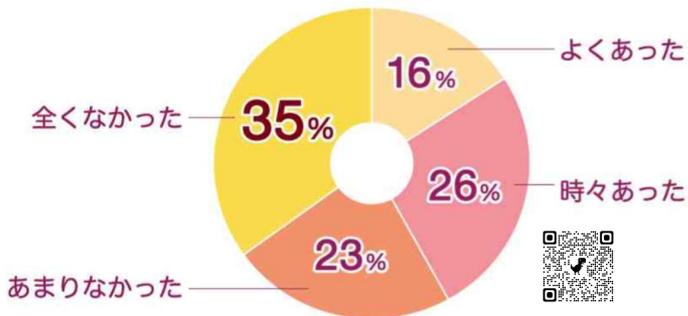
# 現状 : 妊婦さんが困っていること、辛いこと

## (1) 電車

現状、妊婦さんに実際に遭遇している電車内での体験は、電車に乗っているひとからの暴言・嫌な目で見られる、舌打ちをされる・席を譲ってもらえない

など。これにより、妊婦さんは電車で嫌な気持ちになったり、電車に乗るのが怖くなったり、妊婦さん自身が気を使って遠慮してマタニティーマーク(妊婦を示すマーク)を隠して電車に乗っているなど一部の妊婦さんが気持ちよく電車を利用できていない。よくあった、時々あった▶約45%

5. 妊娠中の通勤電車やバスなどで不安&嫌な思いがあった？



← 妊娠中に交通機関で嫌な思いをした妊婦さんの割合  
↓ 実際の妊婦さんからの声から

やはり何と言っても通勤電車。残念ながら席を譲って頂いたことは数えるほどでした。特に2人目の時は中期以降切迫瀬戸際で、張り止めを飲みながらでしたので、朝の通勤電車で動悸が苦しくしゃがりこんでしまったことも...譲って下さる方は老若男女関係なかったですね。今は電車で妊婦さんを見かけたら必ず声をかけています。

妊娠7ヶ月のころ、里帰り出産のタイミングで退職する私の送別会の帰り、20時過ぎに電車に乗ったのですが、仕事帰りの方で座席が一杯でした。同じ電車で帰る後輩男子が「どなたか妊婦さんに席を譲っていただけませんか」と言ってくれたのですが、「妊婦は電車に乗るな！俺は仕事で疲れてる！」と言われて悲しかったです

## (2) マタニティーマーク

[?]マタニティーマークとは

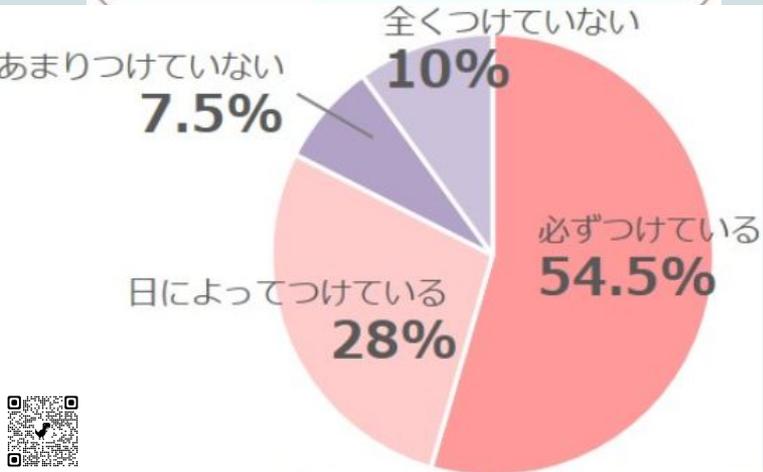


妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするもの

意味▶マタニティーマークを見かけたら

- ・声をかけよう
- ・席を譲ろう
- ・喫煙をやめましょう

ですが、妊婦さんとその子を守るこのマタニティーマークを身につけていたにも関わらず、嫌な思いをしている事例もある。



マタニティーマークが見えているはずなのに席を譲られない、嫌がらせや暴言、暴力を受けた人も

たまげたことに、マタニティマークを付けて満員電車に乗っても、これが、まじでまったく総スルーなのである。

これまで電車の中やバスの中でマタニティマークを付けた人を見るたびに、私はせっせと席を譲ってきたのだが、いざ自分が付ける側になってみると、まるで私もマタニティマークも透明になってしまったように、誰にも席を譲られない。

妊婦は激怒した。

翠 4y フォローする

>>RT

かく言う自分も妊婦なんだが、マタニティマークは旦那と一緒にの時しか鞆から出さない。出したところで何も変わらないし、席を代わってもらったことも一度もない。通勤時につわりでオエオエしてモタモタしてるところで押され、靴は踏まれて隅っこへそくささと逃げてる。世知がないっす。



↑ 妊娠中、外出時にマタニティーマークをつけている割合

周りの人から何をされるかわからないため、マタニティマークをあえてつけない妊婦さんも少なくない。またマタニティマークの認知度は年々上昇している。

### 約3割の妊婦が1度も席を譲ってもらった事がない

Q マタニティマークをつけていて、席を譲ってもらった事は何回ありますか

・ 1度もない 29% ・ 1～3回 28% ・ 4～6回 23% ・ 7回以上 20%



## マタニティマークをつけない理由

- 1 「嫌な目にあうというニュース・情報を見た」：57.5%
- 2 「つける必要がある場面がない」：37.5%
- 3 「何のためにつけるか理由がわからない」：20.0%



## (3)仕事と育児の両立

お腹に子がいながらも仕事をするお母さんは多い。そんな中ハードな仕事・簡単に休暇がとれない・パートナー(夫)が休みが取れないなどの問題が挙げられる。

これは世界から見ても仕事量が軍を抜いている日本の抱える問題。休みたくても上司の圧によりなかなか休暇を取れない妊婦さんや夫が仕事に追われなかなか育児に積極的に協力できず、妊婦さんに重い負担がかかってしまうケースも多い。

# 職場の対応に不満の声

第二子を妊娠中、臨月で産休中です。

夫が激務のため、土日仕事で不在、平日朝晩はもちろんワンオペ。体調がよくなくても、元気が有り余る長男の対応をするのは体力的精神的に大変でした。

私の職場は理解があり非常に恵まれていていましたが、家事と育児の方は休めません。男性も長時間労働を何とかしてほしい…。

職場は理解はあったものの、妊娠中と公表後もそこそこ重い荷物を持って階段を往復する仕事（週一の雑務）を手伝おうかなど気にかけてくれた人がほとんどいなかったのが残念でした。理解はあるけど無関心。むしろ他部署の人から大丈夫？と声をかけていただきました。

仕事が17時までの勤務だったが、夕方から悪阻がきつくなるため、暫く16時までの勤務にして貰えないかとお願いしたが、無理だと断られたので退職しました。

前回、妊娠したときに「しんどかったら勤務時間を短縮出来るから、何でも言って」と言われたからお願いしたのに…。あれは嘘だったのかと嫌な気持ちになりました

職場の理解ある対応、職場の人たちの思いやりある言動、行動の協力が必要である事がわかる

妊婦に優しい職場づくり、出勤時間を管理しやすい職場の雰囲気。

# -----社会に求めたいこと-----

【1】妊婦さんを見かけたら

席を譲ることを当たり前

【2】マタニティーマークの理解を広める

【3】ストレスフリーの職場

休みたいときに休める環境を



# —————そのために提案できること—————

・より多くの人にマタニティーマークを認知させる、またマタニティーマークをすでに知っている人もマタニティーマークの意味などを再確認し、生活の中で妊婦さんに意識を向けられるような

## 【ポスター・看板の設置】

・育児や育児をしながら仕事に勤めるお母さん方に悩みを少しでも減らしてもらえ るよう、相談窓口をより多く知ってもらうための

## 【家庭へのチラシ配り】

また育児を一人で抱え込まず少しでも気が楽になるための

## 【悩みを共有する掲示板の設置】

以上のことを提案します！！

## まとめ

妊婦さんが生活する上で不安なことや辛いと思っていることをまとめて、一人の体ではない妊婦さんはその分いろいろな負担がかかるので、生活しやすい環境と、社会の妊婦さんに対する周り(社会)の考えがもっと思いやりのあるものにしていくべきだと思った。身を守るマタニティーマークがそのマークによって傷ついている人がいるのは初めて知った。このマークは妊婦さんのことをみんなでサポートしようというマークなので嫌な思いにさせないように周りの配慮が必要だと思った。また、見て見ぬふりは良くないなと思った。妊婦さんに限らず、休めにくい職場環境は日本の特徴でもあるのでこの日本の慣習を少しずつ変えていく必要があると思った。

## 感想

ただただわかっていることや、知ったことをそのまま記載するより自分で資料となるグラフや意見を集めそこからわかることを考えたり、数値として結果を残すことで、その問題の細かなところまで見えて、今までより見る人に説得力のあるスライドを作ることができるとうわかった。妊婦さんのストレスが詰まった掲示板(集まった意見)を見て、たくさんの不満が溢れていてこの不満をなくすような社会の雰囲気はこれから作れていけるのだろうかという疑問に思った。妊娠している人が安全・快適にストレスフリーの暮らしやすい社会になればと思った。